

2017年度第3四半期 決算説明会

2018年1月31日
株式会社村田製作所

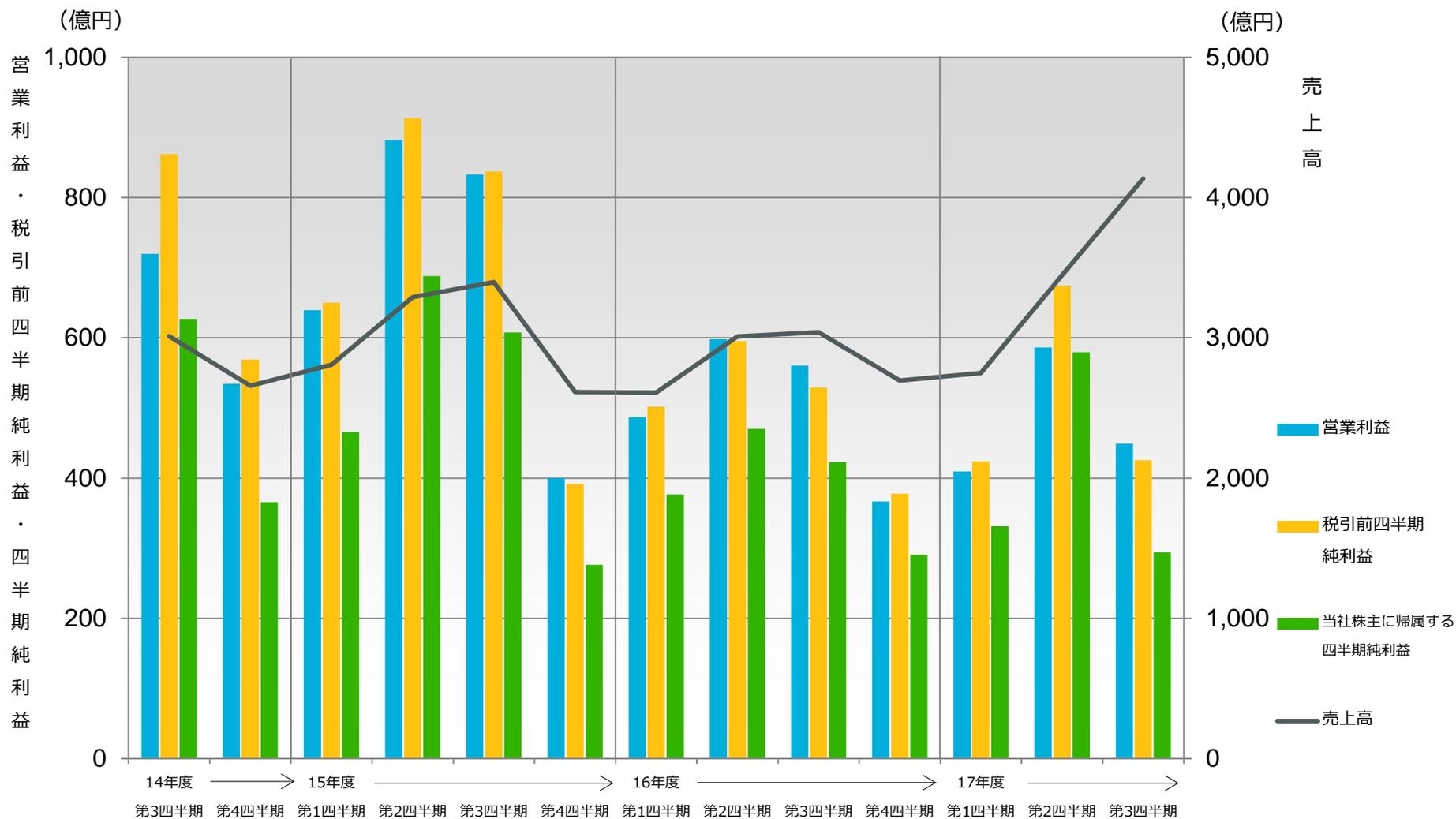


1. 2017年度 第3四半期業績概要

2017年10月～2017年12月
第3四半期連結会計期間

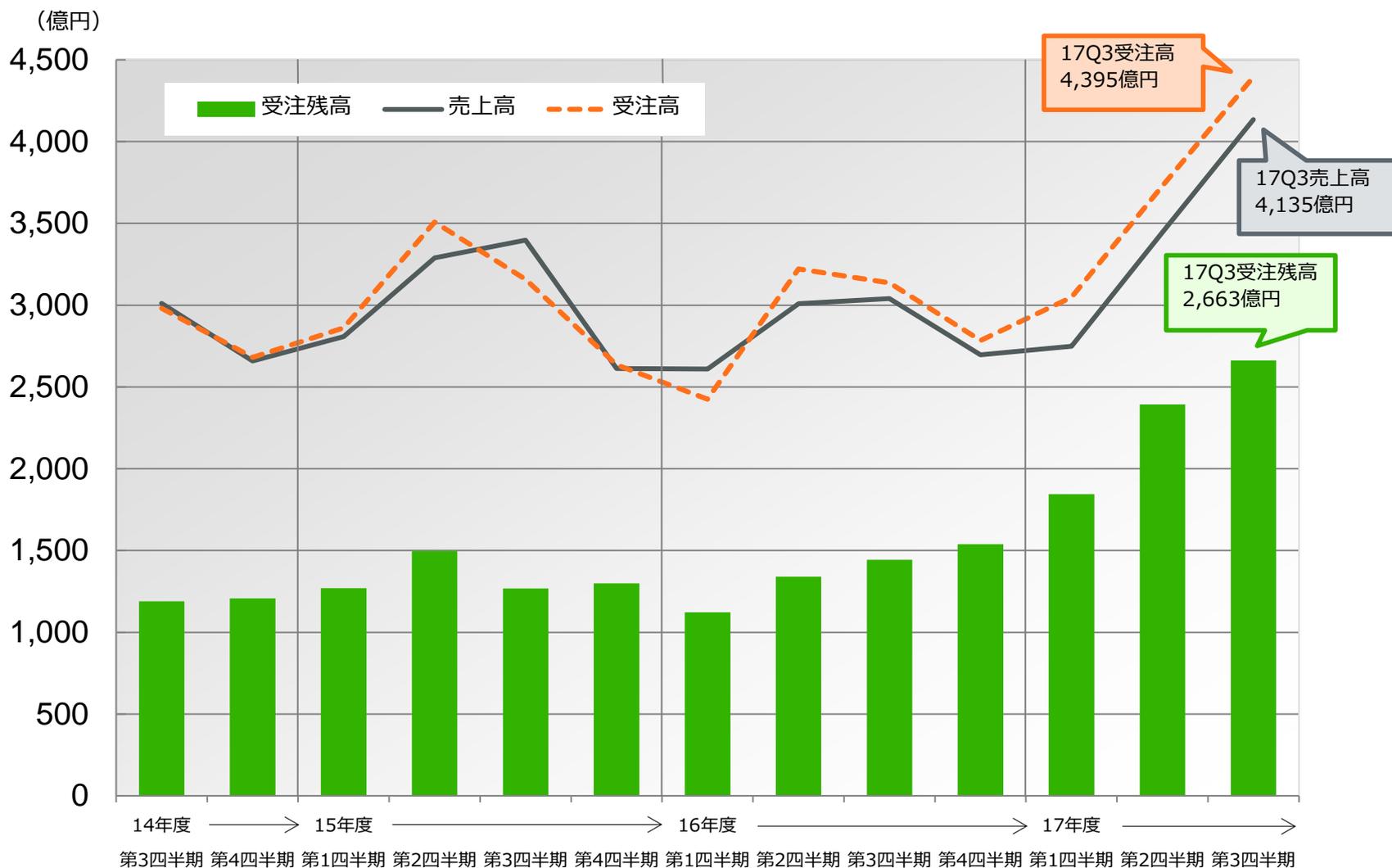
- 当第3四半期の売上高は、スマートフォンの新モデル向けにコンデンサ、樹脂多層基板、近距離無線通信モジュールが大きく伸長したほか、カーエレクトロニクス向けが堅調に推移したことや、2017年9月1日に取得を完了したリチウムイオン二次電池の売上が加わったことから、前年同期比36.0%の増加。
- 当第3四半期の営業利益は、新製品の立上げの遅れに伴う製造費用増加に加え、減価償却費が増加したことにより、前年同期比19.9%の減少。
営業利益率は10.9%。
- 営業利益は通期の営業利益予想に対して85%の進捗。

業績推移 [四半期]

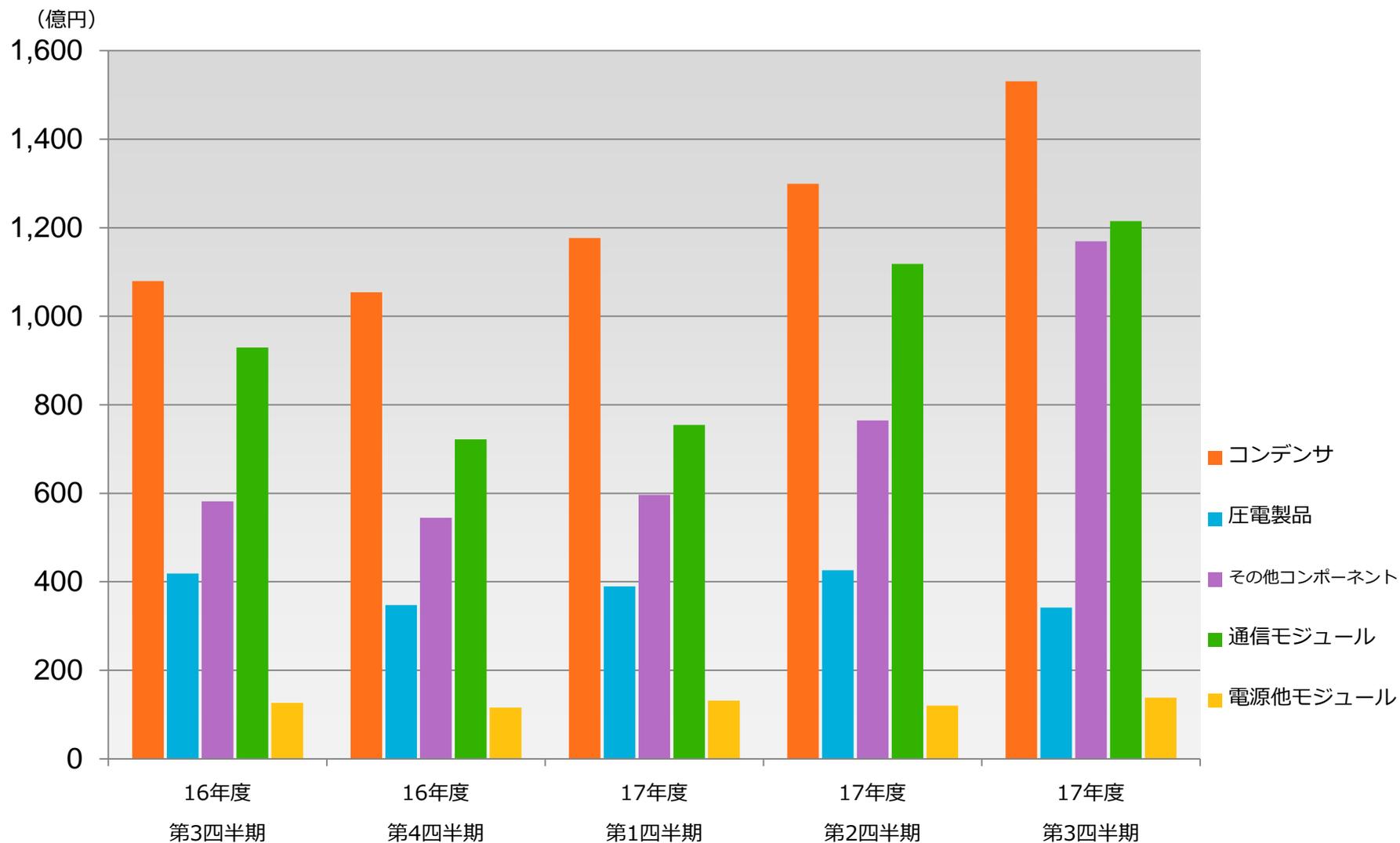


	2016年度		2017年度		2017年度		前年同期比		直近四半期比	
	第3四半期		第2四半期		第3四半期		17Q3/16Q3		17Q3/17Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	3,040	100.0	3,447	100.0	4,135	100.0	+1,095	+36.0	+689	+20.0
営業利益	561	18.4	586	17.0	449	10.9	▲111	▲19.9	▲137	▲23.4
税引前四半期純利益	529	17.4	674	19.6	426	10.3	▲103	▲19.5	▲248	▲36.9
当社株主に帰属する 四半期純利益	423	13.9	579	16.8	294	7.1	▲129	▲30.4	▲285	▲49.2

売上・受注・注残推移 [四半期]



製品別受注高推移



製品別売上高

	2016年度 第3四半期		2017年度 第2四半期		2017年度 第3四半期		前年同期比 17Q3/16Q3		直近四半期比 17Q3/17Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	980	32.4	1,127	32.8	1,269	30.7	+289	+29.4	+142	+12.6
圧電製品	449	14.8	410	11.9	389	9.4	▲61	▲13.5	▲21	▲5.2
その他コンポーネント	592	19.5	730	21.2	1,055	25.6	+463	+78.3	+325	+44.5
通信モジュール	901	29.7	1,046	30.4	1,289	31.2	+387	+43.0	+243	+23.2
電源他モジュール	110	3.6	125	3.7	125	3.1	+15	+13.9	+0	+0.0
製品売上高計	3,033	100.0	3,439	100.0	4,126	100.0	+1,094	+36.1	+688	+20.0

製品別売上高概況

[2017年度第2四半期→2017年度第3四半期]

コンデンサ (直近四半期比+12.6%)	○ チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC) スマートフォンの新モデル向けに小型大容量品が大きく伸長したほか、カーエレクトロニクス向けも好調に推移し、大幅に増加
圧電製品 (直近四半期比▲5.2%)	▲ 表面波フィルタ 中国スマートフォンの生産台数減少の影響により振るわず
その他コンポーネント (直近四半期比+44.5%)	○ リチウムイオン二次電池 2017年9月に取得が完了したため新たに売上高を計上 ▲ コイル 高周波用チップコイルがスマートフォン向けで前四半期の取り込み増加の反動により低下
通信モジュール (直近四半期比+23.2%)	○ 樹脂多層基板/近距離無線通信モジュール ハイエンドスマートフォン向けで大きく伸長 ▲ 通信機器用モジュール/多層モジュール スマートフォン向けでのシェア低下により減少
電源他モジュール (直近四半期比横這い)	○ 電源 産電機器向けが堅調に推移

用途別売上高

	2016年度		2017年度		2017年度		前年同期比		直近四半期比	
	第3四半期		第2四半期		第3四半期		17Q3/16Q3		17Q3/17Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	117	3.8	172	5.0	195	4.7	+78	+67.3	+23	+13.4
通信	1,742	57.4	1,900	55.3	2,311	56.0	+569	+32.7	+411	+21.6
コンピュータ及び関連機器	458	15.1	519	15.1	527	12.8	+69	+15.2	+8	+1.5
カーエレクトロニクス	442	14.6	475	13.8	533	12.9	+92	+20.7	+58	+12.2
家電・その他	275	9.1	372	10.8	560	13.6	+285	+103.9	+188	+50.4
製品売上高計	3,033	100.0	3,439	100.0	4,126	100.0	+1,094	+36.1	+688	+20.0

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

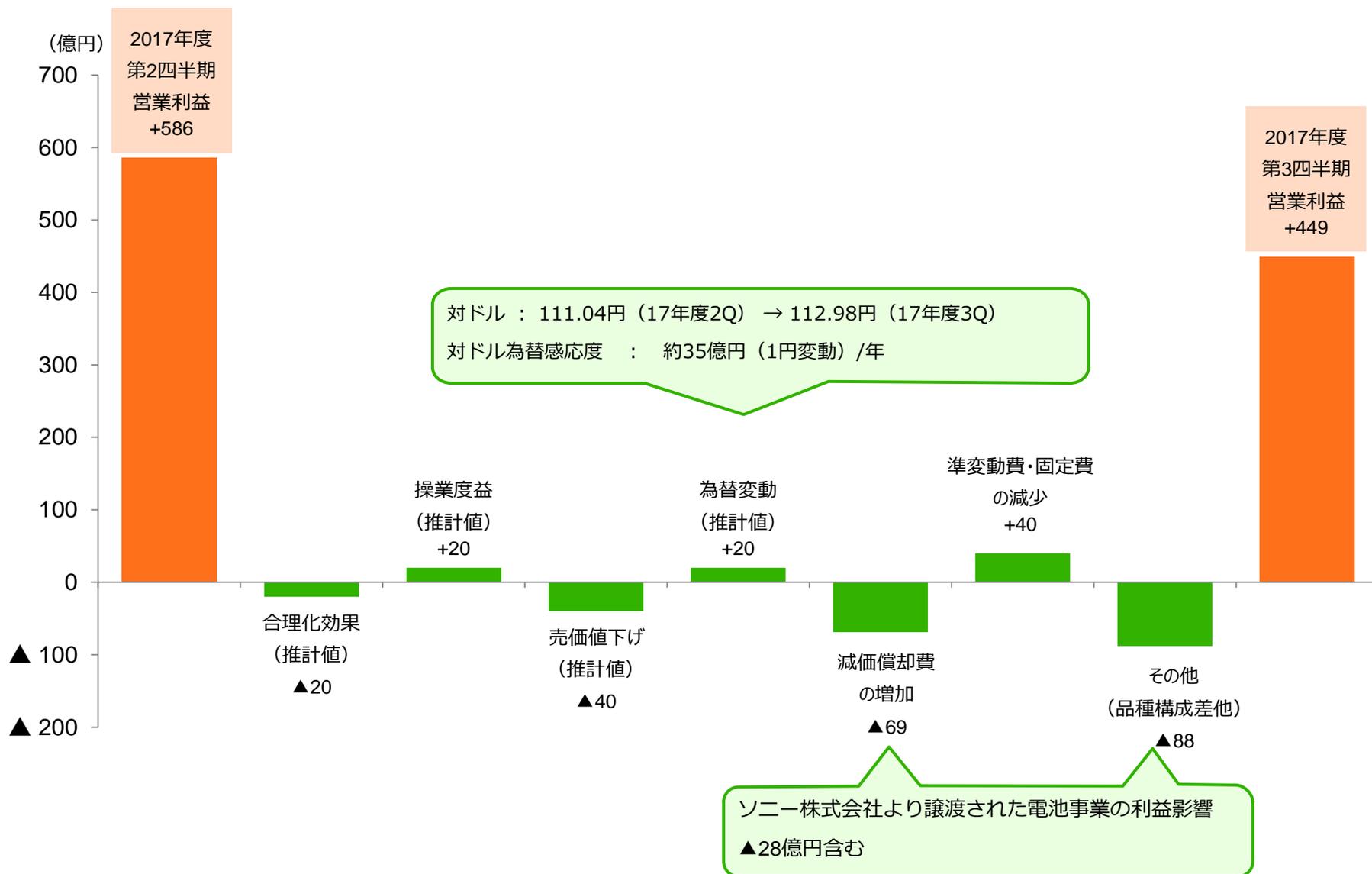
[2017年度第2四半期→2017年度第3四半期]

A V (直近四半期比+ 13.4%)	○ デジタルカメラ向けなどでリチウムイオン二次電池の売上高を新たに計上
通信 (直近四半期比+ 21.6%)	○ハイエンドスマートフォン向けで樹脂多層基板、近距離無線通信モジュール、小型大容量コンデンサが大きく伸長 ▲中国スマートフォン向けで表面波フィルタが生産台数減少の影響により振るわず
コンピュータ及び関連機器 (直近四半期比+ 1.5%)	○ タブレットPC向けなどでリチウムイオン二次電池の売上高を新たに計上 ○ 大容量HDD向けでアクチュエータが好調
カーエレクトロニクス (直近四半期比+ 12.2%)	○ 電装化の進展により車載用コンデンサが好調 ○ 安全装置向けに超音波センサ、MEMSセンサが増加

(注) 当社推計値に基づいております

利益変動要因

[2017年度第2四半期→2017年度第3四半期]



2. 2017年度 業績予想

2017年4月～2018年3月

2017年度 業績予想

	前回予想 (17年4月)			今回予想					
	上期予想	下期予想	2017年度 通期予想	上期実績		下期予想		2017年度 通期予想 (10月時予想)	
				(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	6,000	6,250	12,250	6,196	100.0	7,424	100.0	13,620	100.0
営業利益	1,080	1,180	2,260	996	16.1	704	9.5	1,700	12.5
税引前当期純利益	1,100	1,200	2,300	1,098	17.7	702	9.5	1,800	13.2
当社株主に帰属する 当期純利益	840	900	1,740	911	14.7	529	7.1	1,440	10.6
為替 (円/USD)	108.00			111.07		110.00		110.54	

10月公表値の見直しを行っておりません。

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

